

事業実績評価(令和3年度分)

<掲載事業について>

ページ	事業名	区分
1	汚水処理施設の整備	総合計画 2-3-(6)
2	安全・安心な学校づくりの推進	総合計画 4-2-(1)
3	健(検)診体制の充実と医療費適正化の推進	総合計画 3-7-(2)
4	瑞穂市まち・ひと・しごと創生推進計画 ~企業版ふるさと納税~	地域再生計画
5	一圏域応援ステーションー 穂積駅圏域拠点化構想推進事業	総合戦略
6	特色ある「瑞穂農業」の促進	総合計画 5-1-(1)
7	行政評価の充実と推進	総合計画 共-1-(2)
8	適正な受益者負担と公有財産の管理	総合計画 共-2-(2)
9	組織体制の強化と人材育成	総合計画 共-1-(3)
10	消防団員の確保	総合計画 1-1-(3)

高い	目標達成に非常に効果的であった
↑	目標達成に相当程度効果があった
中	目標達成に効果があった
↓	目標達成に効果がなかった
低い	目標指標無し
-	その他

瑞穂市

総合計画等評価審議会 評価結果

事業	総合計画	汚水処理施設の整備		担当課	下水道課・環境課
評価	有効であった	10件	91%	評価 まとめ	有効であった
	有効とはいえない	1件	9%		有効とはいえない
	欠席	3件			
コメント	良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 汚水処理人口普及率は微増であるが、少しでも実績があれば効果があったと判断できる。 			
	悪かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標達成へのゴールが見えない。 ・ 汚水処理人口普及率が何年かかって岐阜県の平均値にいくのか分からない。 			
	提案・要望点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの人が理解し納得できる方向でお願いしたい。 ・ 総事業費に対する、年度毎の進捗報告が必要 ・ 合併浄化槽への切り替えの推進のための広報をもっとすべき。 ・ 普及率100%を早急に目指してほしい。 ・ 新築住宅への補助金は疑問である。 ・ 少しでも早く岐阜県の平均に追いつけるよう整備してほしい。 			
	主な質疑とそれに対する回答	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浄化槽の設置整備補助金が出るのはいつか？ ⇒下水道区域を除く新築住居の時、単独槽や汲み取りからの入れ替えの時に出る。 ・ 第二期事業計画では、汚水処理人口普及率最終目標は100%であるか？ ⇒汚水処理人口普及率には合併浄化槽のみ含まれているため、一部エリアの中で、公共下水道のエリアでないところに単独槽が残っていれば、100%にならない。 ・ 最終目標は何%を目指しているのか？ ⇒公共下水道のエリアではないところの単独槽については、合併浄化槽に切り替えることで補助金を受け取り、それを活用することで将来的には100%を目指している。 			

総合計画等評価審議会 評価結果

事業	総合計画	安全・安心な学校づくりの推進		担当課	学校教育課
評価	有効であった	11件	92%	評価 まとめ	有効であった
	有効とはいえない	1件	8%		
	欠席	2件			
コメント	良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・ どのような場でも知識を積むことは大切であり、次世代を育むためにも必要な政策である。 ・ 子供たちの様子を細かく見ようと努力している。 ・ 研修への参加100%と教員の向上に努めている様子が伝わる。 			
	悪かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別支援教育コーディネーターや教育推進担当者の研修事業への費用がなく、進んでいない。 			
	提案・要望点	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートの結果を可能な範囲で公表してほしい。 ・ 今後も子ども達に寄り添う環境づくりをしてほしい。 ・ いじめや不登校の未然防止に関する取り組みが弱いと思われるため、相談担当者や教員の研修機会を増やしてほしい。 ・ すべての子どもに対して安心・安全な居場所づくりをしてほしい。 			
	主な質疑とそれに対する回答	<ul style="list-style-type: none"> ・ ハイパーQ.Uというアンケートを取る時に、学校を欠席した人への対応はどうしているのか？ ⇒ 多くの子たちの気持ちや状況をつかみたいと考えているため、可能な範囲で取るようにしている。 ・ あじさいスクールは4月休みであるのか？ ⇒ 4月は新しい出会いや、自分の新しいスタートを大切にしてほしいため休みにしている。 ・ 教室とあじさいスクールの間にある相談室の取り組みはどうなっているか？ ⇒ 穂積中学校では相談室の環境が整っており、担当者がどの時間帯でもいるようにしているが、学校によっては教員の事情もあり厳しい部分がある。一方で、一人ひとりに合わせた対応を取ることが可能な相談室もある。 			

総合計画等評価審議会 評価結果

事業	総合計画	健（検）診体制の充実と医療費適正化の推進		担当課	健康推進課・医療保険課
評価	有効であった	11件	100%	評価 まとめ	有効であった
	有効とはいえない	0件	0%		有効とはいえない
	欠席	3件			
コメント	良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・ good ライフ健診を実施することで、令和2年度と比較し20、30歳代の健診の継続受診率が上昇している。 ・ 健診、健康について市民に分かりやすく行っていただいている。 			
	悪かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナを理由に、セミナーを平日に限定することは良くないのでは。 			
	提案・要望点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健診やセミナーを平日だけではなく、土日にも実施することで多くの人に参加できるようにしてほしい。 ・ 健康セミナーは健診結果をもとに行われるため、実施期間を9月以降などに遅らせるのはどうか。夏休み期間を外すことで、女性の参加率向上が見込めるだろう。 ・ 今後も健診やセミナーを実施してほしい。 ・ 医療機関と連携し、柔軟な対応をお願いしたい。 ・ 健診について、より多くの人に受診してもらうために該当年齢者に直接通知するなどしたらどうか。 			
	主な質疑とそれに対する回答	<ul style="list-style-type: none"> ・ good ライフ30分健康セミナーは平日のみ行っているのか？ ⇒参加者は子育て世代が多く、子どもが小学校や幼稚園等にいる午前中に参加する方が多い。そのため土日の実施については一度検討するが、参加者が特に多い午前中や午後で実施しようと考えている。 ・ good ライフ健診の期間延長について考えているのか？ ⇒健診の受診率向上のためにも、健診の期間延長についてもとす医師会の方と検討していきたい。 ・ good ライフ健診は若年層が対象であり、社会保険の被保険者の人は事業所で健診を行うと考えられる。対象者の把握はどのように行っているのか？ ⇒社会保険の対象者の把握は難しいため、把握まで行っていない。一方で、社会保険の扶養者の方については、扶養健診について知らない場合があるので、30代の女性の方には未受診対策として勧奨している。 			

総合計画等評価審議会 評価結果

事業	地域再生計画	瑞穂市まち・ひと・しごと創生推進計画		担当課	健康推進課・総合政策課
評価	有効であった	11件	100%	評価 まとめ	有効であった
	有効とはいえない	0件	0%		有効とはいえない
	欠席	3件			
コメント	良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの健康のための政策であり、効果があったと判断できる。 ・企業版ふるさと納税をこの事業に充てたのは良い判断であった。 			
	悪かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナで病院に行くのを控えていた人も多いため、違う時期に行うべき事業だったのでは。 ・この事業に関しての指数ではないため、評価の仕方が分かりにくかった。 			
	提案・要望点	<ul style="list-style-type: none"> ・住みやすさの評価が高い指数を維持できることを願いたい。 ・助成費用の増額が、接種率や満足度の向上につながるのではないか。 ・予防接種についてPRをし、今後も続けて欲しい。 			
	主な質疑と それに対する回答	<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種対象者のうち37.1%の方に助成を行ったとあるが、この数値をどのように捉えているのか？ ⇒令和3年度より開始したため、どのように捉えればよいか分析できていない。予防接種は任意接種であり、また市内の医療機関に限っているため今後周知を行っていきたい。 ・この事業に特化した目標指数を出すことは難しいのか？ ⇒今回の評価は、「瑞穂市まち・ひと・しごと地域再生計画」の中の評価で行っており、総合計画の中に予防接種単独の事業評価はないので難しい。 ・予防接種について今後も続けていくのか？ ⇒今後も続けていくつもりである。 			

総合計画等評価審議会 評価結果

事業	総合戦略	圏域応援ステーション 穂積駅圏域拠点化構想推進事業		担当課	総合政策課
評価	有効であった	10件	91%	評価 まとめ	有効であった
	有効とはいえない	1件	9%		有効とはいえない
	欠席	3件			
コメント	良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年々駅周辺の活性化の取り組みが変わり、事業を進めている様子が伝わる。 			
	悪かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベント主体では不十分 ・ コロナ禍で駅利用が減っている状況であり、イベントの際に駐車場に車を停めている人が多くいたため工夫して欲しかった。 			
	提案・要望点	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナの影響が大きくあるため、方向性が正しいのか検証をしたらどうか。 ・ 穂積駅周辺で色々な取り組みを行い、盛り上げてほしい。 ・ イベントは、定期的に継続することが大切だと思う。 ・ 自立的な活動になるように、後押しをお願いしたい。 			
	主な質疑とそれに対する回答	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規出店したところに対して、市からの継続的な応援はあるのか？ ⇒ 目標数値は、駅周辺が盛り上がることにより店舗が増えるというところの数値であるため、市が主体的に補助することはない。 ・ 新規店舗について、その後の継続性はどうなっているのか？ ⇒ 令和2年度までに6店舗新規出店があったが、この中で5店舗が継続している。 ・ 乗降客数の減少はコロナが影響していると考えられるが、他に減少した要因は考えられるのか？ ⇒ 基本的にはコロナが要因で通勤、通学者が減ったことに加え、出控えのために乗降客数が減少したと考えている。その他の要因については今のところ考えていない。 			

総合計画等評価審議会 評価結果

事業	総合計画	特色ある「瑞穂農業」の促進		担当課	商工農政観光課
評価	有効であった	11件	92%	評価 まとめ	有効であった
	有効とはいえない	1件	8%		有効とはいえない
	欠席	2件			
コメント	良かった点	<ul style="list-style-type: none"> 給食での地産地消の取り組みは、子ども達への食の関心にも大切なことであり、より良い未来につなぐことができる事業である。 			
	悪かった点	<ul style="list-style-type: none"> 評価について、短期間では良いものが作れないと思うので5年や10年ごとに行ってはどうか。 			
	提案・要望点	<ul style="list-style-type: none"> 今後の瑞穂でのブランド増加と、財政の拡大に期待している。 富有柿発祥の地のPRをふるさと納税以外でも行い、PRに更に力を入れて欲しい。 保育所や小、中学校に地産地消について分かりやすいパンフレットを作り、置いてはどうか。 ぎふ一ど認定店を増やす活動をしたらどうか。 特産農産物の種類を増やしたらいいのでは。 ふるさと農業をもっと強化すると良いと思う。 			
	主な質疑とそれに対する回答	<ul style="list-style-type: none"> どのような場面、方法で瑞穂市や特産品についてPRをしたのか？ ⇒市外から視察等でお客が来た時に配布をした。その他には、ふるさと納税やFC岐阜のホームタウンデーの際にブースを構えるなどしてPRを行った。 地産地消推進事業について令和4年度の事業費が令和3年度の事業費より多いのは何か意図があるのか？ ⇒令和3年度はコロナで学校が休校になり給食が不要になったからである。 今後事業費を上げ、給食費を減額するなどして市民や子どもに還元する考えはないのか？ ⇒地産地消事業は制度的には補助金であり、JAの中央会に県の補助金と合わせて支払いをしている。そのため、積極的に取り組んでも事業費を増やし、市民や子どもに還元することにはつながらない。 			

総合計画等評価審議会 評価結果

事業	総合計画	行政評価の充実と推進		担当課	財務情報課
評価	有効であった	9件	75%	評価 まとめ	有効であった
	有効とはいえない	3件	25%		有効とはいえない
	欠席	2件			
コメント	良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・直接的に事業の内容が目標指数を達成したとは言えないが、今後の方針になったと思う。 ・人と人が一丸になるような活動は、皆がやる気になり元気が生まれる。 			
	悪かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・女性職員の活躍推進を重点としているが、女性の管理職登用が少ないのではないか。 ・参考指標が努力により変化しにくいものであるのならば、他の指標に変更するべきではないか。 			
	提案・要望点	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな収入の確保のために、企業誘致をしたらどうか。 ・働き方改革で、女性の活躍などの取り組みを期待する。 ・マイナンバーカードの推進を期待している。 ・行政改革推進委員会の努力した結果がはっきりしないため、事業仕分け等による効果を分析したらどうか。 ・必要などころには財政的な手当てをする姿勢が求められるのではないか。 			
	主な質疑と それに対する回答	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の女性管理職の割合はどのくらいか？ ⇒割合はその場で答えられないが、管理職としては部長級が1名と課長級が3名いる。 ・経常収支比率が令和2年度の83.5%から76.9%に急激に下がったが、コロナの影響はどのくらい考えられるのか？ ⇒経常収支比率が大幅に下がった一番の要因は、経常収支比率の分母である地方交付税が令和3年度は2年度と比較し大幅に受け取れたことである。一方で、コロナ禍により事業ができないことも要因の1つである。 ・経常収支比率は内部的な努力というより、外的な要因の方が大きいのか？ ⇒内部的な努力で大幅に下げることが難しいものである。外的な要因は大きいですが、市全体で目標を持ち経費削減に努めている。 			

総合計画等評価審議会 評価結果

事業	総合計画	適正な受益者負担と公有財産の管理		担当課	財務情報課
評価	有効であった	11件	92%	評価 まとめ	有効であった
	有効とはいえない	1件	8%		有効とはいえない
	欠席	2件			
コメント	良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・未利用地の売却は数件であったが、少しでも実績があれば効果があったと判断できる。 			
	悪かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・未利用地の売却ができたのは良いが、目的が違うのではないか。 ・具体的な目標が分からなかった。 			
	提案・要望点	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズに即した行政サービスを継続的に行ってほしい。 ・大きい人的コストをかけてまで、小規模不動産を処分する必要はないのでは。 ・空き家がたくさんあるので、地域の人意見を確認しながら、未利用地の有効活用をしてほしい。 ・事業による売却益や事業費などの収支を公開してほしい。 			
	主な質疑とそれに対する回答	<ul style="list-style-type: none"> ・未利用地を売却するために、どのような方法で周知しているのか？ ⇒未利用地は、売却ができるものであれば隣地の必要な方が購入するが、まとまった面積がないものや長方形のものなど利用が難しい土地が多くあり売却が難しい。また、売却単価が高いのも未利用地の売却ができていない原因の一つであるため料金の改定を検討している状況である。 ・穂積町領下分の土地1筆の面積はどのくらいか？ ⇒領下の面積は1.45平米である。領下は少ないが、用途廃止したものに関しては45平米と15平米である。 ・法定外公共物3筆の売却益の入り先と、金額はいくらであるか？ ⇒売却益は市の収入として全額入り、領下分が1万6千46円、用途廃止分が318万4千200円である。 			

総合計画等評価審議会 評価結果

事業	総合計画	組織体制の強化と人材育成		担当課	総務課
評価	有効であった	12件	100%	評価 まとめ	有効であった
	有効とはいえない	0件	0%		有効とはいえない
	欠席	2件			
コメント	良かった点	・人材育成について強化できたと言える。			
	悪かった点	・保育所等でのオンライン研修の体制が整っていない。			
	提案・要望点	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修については続けて欲しい。ただし、コロナが落ち着くまではオンライン研修にとどめるべきである。 ・型にはまった研修が多いが、実際の現場では地域にあったまちづくりの提案を求めていることを忘れないでほしい。 ・後に職場で活かすことが出来るような研修であり、100%の参加率となるような、職員の方の意識向上する職場の雰囲気づくりが行われることを願っている。 ・保育所等でもオンライン研修の体制を整え、多くの職員が研修を受けられるようにしてほしい。 ・研修がその後の事業にどのように生かされているのか事例を紹介してほしい。 ・協調性のあるコミュニケーションが取れる人になるよう、研修を中身のあるものにしてほしい。 			
	主な質疑と それに対する回答	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の方に該当者全員や延べ人数は書かれているが、約何割の方が参加しているのか？ ⇒研修については、保育士を対象とした研修等を含むため人的には多くなっている。役所内の研修での感触であるが、約6、7割の職員の参加が見込まれていると考えている。 ・保育士の会議では市の体制が整っていないため、オンライン会議や研修はできていない状況である。オンラインでの研修の充実は保育士も含む部分で進んでいるのか？ ⇒保育所については全くハード面が整っておらず、未だに対面での研修が多いのが事実である。財務情報課との協議になるが、パソコンの貸与や購入については今後の課題になると考えている。 			

総合計画等評価審議会 評価結果

事業	総合計画	消防団員の確保		担当課	市民協働安全課
評価	有効であった	12件	100%	評価 まとめ	有効であった
	有効とはいえない	0件	0%		有効とはいえない
	欠席	2件			
コメント	良かった点	・一部の地域において避難所開設・運営訓練を自主的に実施できており、防災意識の向上が見られる。			
	悪かった点	・時代や状況が変わっているにもかかわらず、制度が変わらないのはおかしいのではないか。			
	提案・要望点	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災力にもつながるため、女性や学生の方を含む消防団員の確保に期待している。 ・消防団への公費以外での資金援助を検討してほしい。 ・避難先の状況が異なるため、地域住民が納得し自主的に避難することが求められる。 ・自治会との連携やフォローを引き続き行ってほしい。 ・女性消防団を増やすために、消防団の役割や活動について具体的にPRしてはどうか。 			
	主な質疑と それに対する回答	<ul style="list-style-type: none"> ・女性消防団員は9名であるが、その内訳はどうなっているのか？ ⇒正確な数字は分からないが、9名の中に職員が3名程いたと思われる。 ・今現在の学生消防団員は何人程いるのか？ ⇒女性消防班に1人、各分団にいる男性の団員に1人、地域から選ばれた朝日大学の学生が今年から入っている。 ・分団の運営費はどのように確保しているのか？ ⇒以前は消防友の会等で分団にお金が入っていたが、現在は分団の運営費はすでに支払った報酬の中で積み立て、参加する人が自分の分を支払うという形で確保するようにしている。 			